

平成 26 年度
県民アンケート調査
報告書

<概要版>

平成 26 年 11 月

奈 良 県

— 目 次 —

第1章 調査実施概要

1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査の設計	1
4	調査票の配付・回収の状況	1

第2章 調査結果の概要

1	県民の生活全般について	
1-1	現在の暮らし向きの実感	3
1-2	1年前と比較した暮らし向きの実感	4
1-3	1年前と比較して暮らし向きの実感が「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由	5
1-4	日頃の生活での悩みや不安の有無	6
1-5	日頃の生活での悩みや不安の内容	7
1-6	奈良県の住みやすさの評価	8
1-7	将来の奈良県での定住意向	9
1-8	将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由	10
2	県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について	
2-1	県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度	11
3	県民の生活に関する意識やニーズについて	
3-1	県内消費の拡大について	19
3-2	観光の振興について	23
3-3	農林業の振興について	24
3-4	健康づくりの推進やスポーツの振興について	27
3-5	医療・福祉の充実について	29
3-6	こども支援の充実について	35
3-7	学びの支援について	36
3-8	文化の振興について	38
3-9	回答者について	40

第1章 調査実施概要

1. 調査の目的

県民にとって身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「県内消費の拡大」、「観光の振興」や「農林業の振興」等に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2. 調査項目

県民の生活全般に関する項目、県民にとって身近な生活に関する項目についての重要度と満足度を5段階で問う項目、「県内消費の拡大」、「観光の振興」や「農林業の振興」等に関する意識やニーズ及び回答者の属性を問うフェイスシートから構成されています。

3. 調査の設計

- ◇調査地域 奈良県全域
- ◇調査対象 県内在住の満20歳以上の男女・個人
- ◇調査標本数 5,000人
- ◇標本抽出法 層化二段無作為抽出法
- ◇調査方法 郵送配付・郵送回収
- ◇調査時期 平成26年5月20日～6月6日

4. 調査票の配付・回収の状況

調査票配付件数 5,000件 → 有効回答数(率) 2,684件(53.7%)

■ライフステージの区分と区分の設定条件及び有効回答数

区分	区分の設定条件	有効回答数	構成比
若者	20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者	83	3.1%
夫婦	20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者	237	8.8%
育児期	小学校入学前の子供がいる世帯の回答者	208	7.7%
教育期前期	小・中学生、高校生、高専生の子どもがいる世帯の回答者	449	16.7%
教育期後期	専門学校生・短大生・予備校生・大学生(院生)の子どもがいる世帯の回答者	226	8.4%
単身高齢者	65歳以上の単身世帯の回答者	163	6.1%
高齢者夫婦	65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者	418	15.6%
非該当又は無回答		1,068	39.8%
合計		2,684	100.0%

■旧住民・新住民の区分と区分の設定条件及び有効回答数

区分	区分の設定条件	有効回答数	構成比
旧住民(奈良県にずっと住んでいる人)	生まれたときから奈良県に住んでいる回答者	1,255	46.8%
新住民(奈良県に新しくきた人)	生まれたときは奈良県に住んでおらず、移住してきた回答者	1,379	51.4%
無回答		50	1.9%
合計		2,684	100.0%

■奈良での就労区分と区分の設定条件及び有効回答数

区分	区分の設定条件	有効回答数	構成比
奈良県内で働いている人	就労場所が奈良県内の回答者	1,092	40.7%
奈良県外で働いている人	就労場所が奈良県外の回答者	392	14.6%
非該当又は無回答		1,200	44.7%
合計		2,684	100.0%

(注)ライフステージ区分は、「年齢」、「世帯構成」、「子どもの成長段階」の複数の要素を組み合わせ設定している。区分に該当しない対象者、2人以上の子どもがいる対象者がいるため、実有効回答数の合計(1,784件)は対象者数(2,684件)と一致しない。

地域の区分



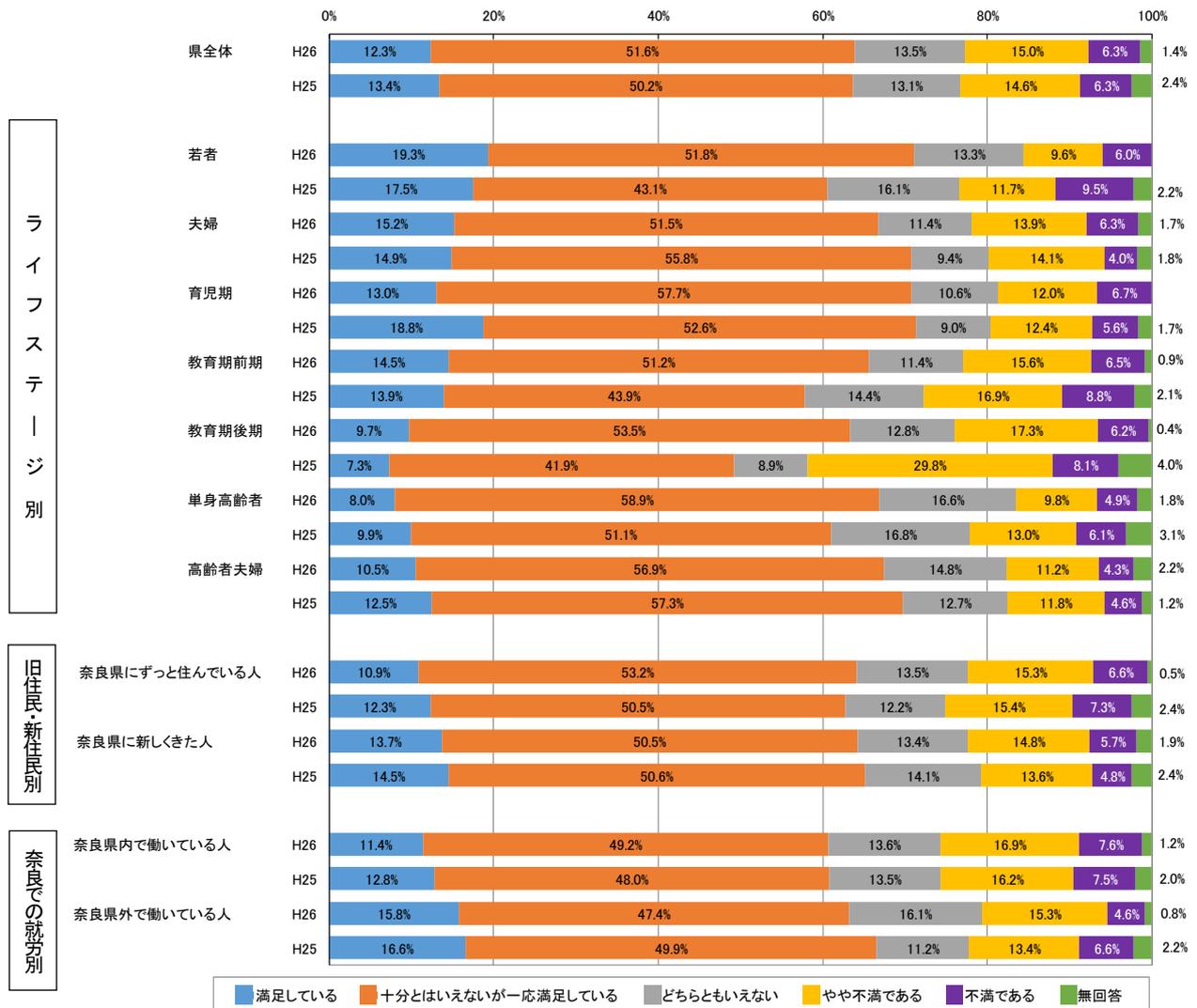
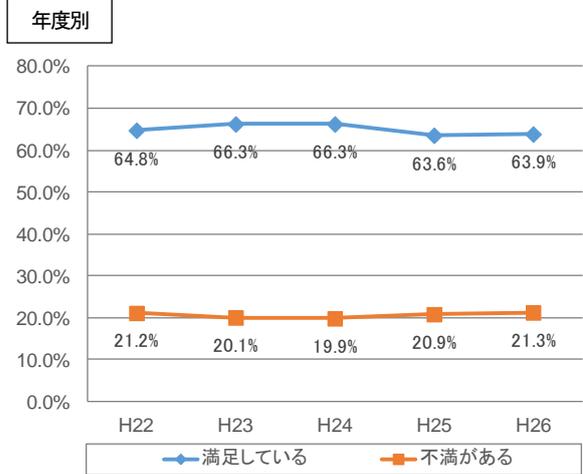
区分名	市町村名
地域1(北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域2(西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域3(中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域4(東部)	桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村
地域5(南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域6(南西部)	五條市・野迫川村・十津川村

第2章 調査結果の概要

1. 県民の生活全般について

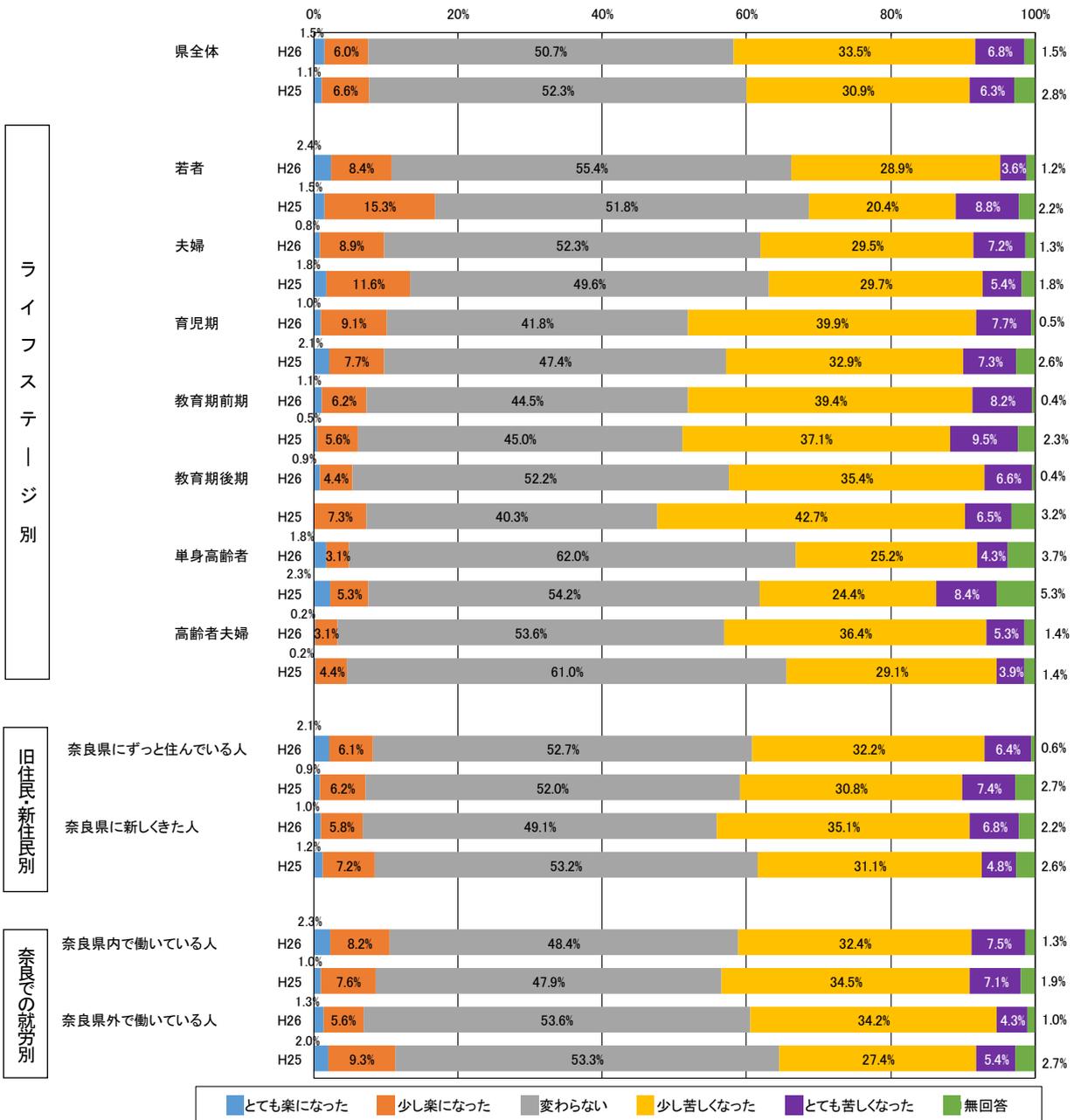
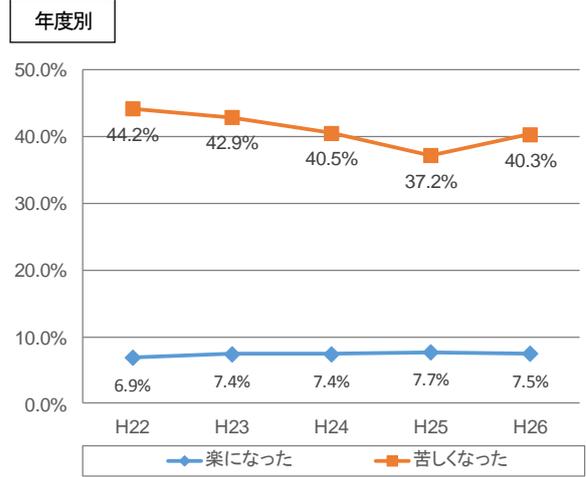
1-1 現在の暮らし向きの実感（問1）

- 平成22年度から平成26年度にかけて「満足」（「満足している」＋「十分とはいえないが一応満足している」）している人は、65%前後で推移しています。平成25年度と比較すると、「満足」している人は0.3ポイント増加し、「不満」（「やや不満がある」＋「不満である」）を抱えている人も0.4ポイント増加しています。
- ライフステージ別みると、「満足」している人が最も多いのは『若者』（71.1%）、「不満」を抱えている人が最も多いのは『教育期後期』（23.5%）となっています。
- 旧住民・新住民別にみると、「満足」している人は、『奈良県に新しくきた人』（64.2%）、『奈良県にずっと住んでいる人』（64.1%）とほぼ同様となっています。
- 奈良での就労別にみると、「満足」している人は、『奈良県外で働いている人』（63.2%）が『奈良県内で働いている人』（60.6%）と比べ多くなっています。



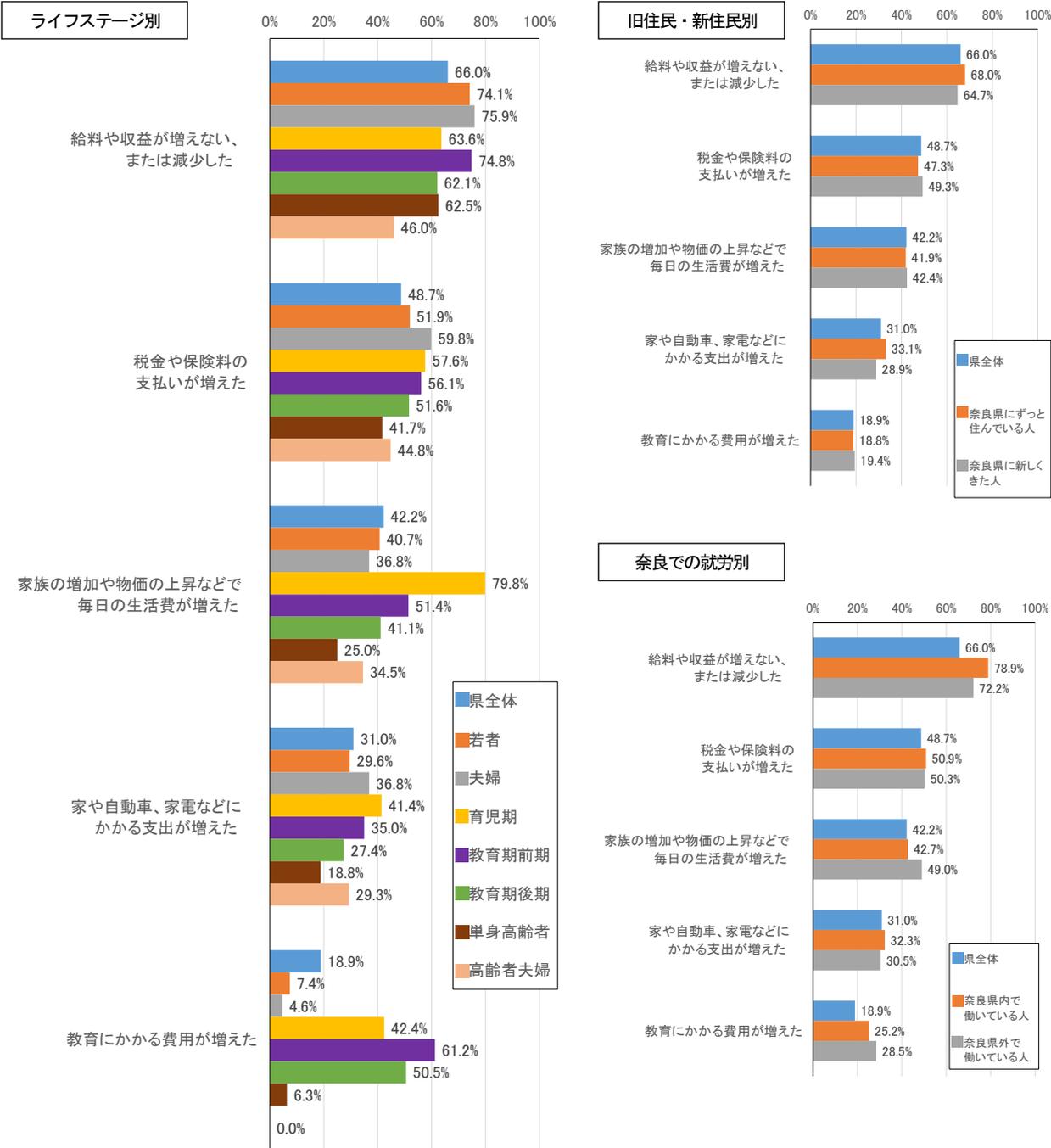
1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感(問2)

- 「苦しくなった」(「少し苦しくなった」+「とても苦しくなった」)と感じている人は昨年度までの減少傾向から今年度は増加となっています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は3.1ポイント増加しています。
- ライフステージ別にみると、「苦しくなった」と感じている人は、『育児期』『教育期前期』(同率で47.6%)で他のライフステージに比べ多くなっています。
- 旧住民・新住民別にみると、「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県に新しくきた人』(41.9%)が『奈良県にずっと住んでいる人』(38.6%)と比べ多くなっています。
- 奈良での就労別にみると、「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県内で働いている人』(39.9%)が『奈良県外で働いている人』(38.5%)と比べ多くなっています。



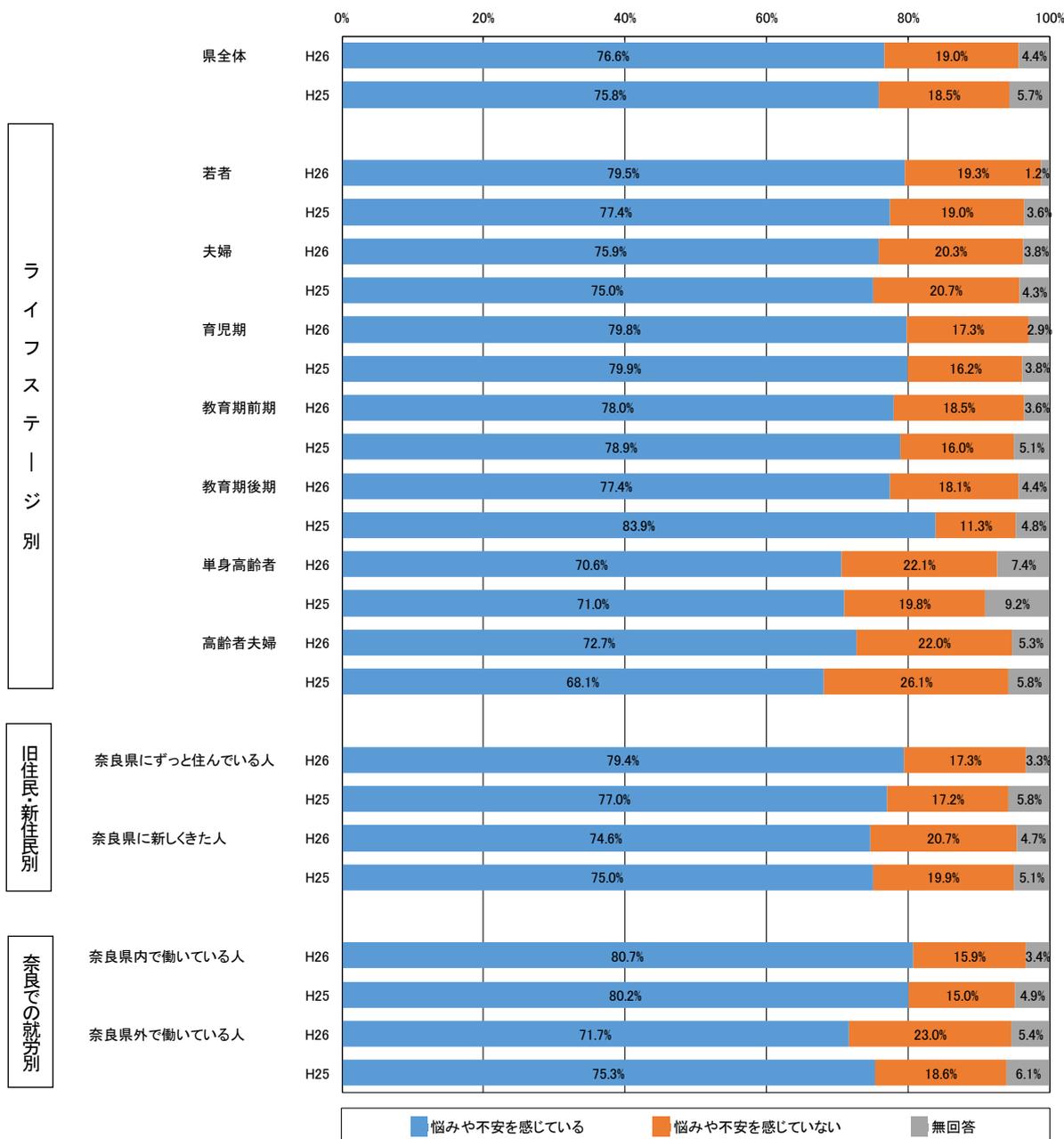
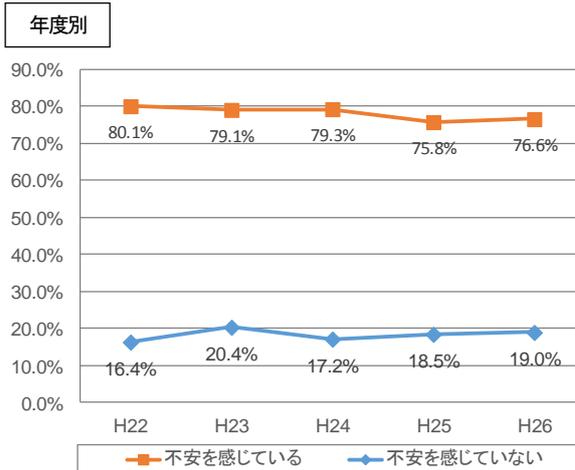
1-3 1年前と比較して暮らし向きの実感が、「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由（問3 5つ以内で複数回答 県全体についての上位5項目を掲載）

- 1年前と比較して暮らし向きの実感が「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由を尋ねたところ、「給料や収益が増えない、または減少した」（66.0%）が最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」（48.7%）、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」（42.2%）、「家や自動車、家電などにかかる支出が増えた」（31.0%）、「教育にかかる費用が増えた」（18.9%）が多く挙げられています。
- 「給料や収益が増えない、または減少した」と答えた人については、ライフステージ別では『夫婦』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県にずっと住んでいる人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。
- 「税金や保険料の支払いが増えた」と答えた人については、ライフステージ別では『夫婦』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。
- 「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」と答えた人については、ライフステージ別では『育児期』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県外で働いている人』が多くなっています。
- 「家や自動車、家電などにかかる支出が増えた」と答えた人については、ライフステージ別では『育児期』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県にずっと住んでいる人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。
- 「教育にかかる費用が増えた」と答えた人については、ライフステージ別では『教育期前期』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県外で働いている人』が多くなっています。



1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無（問4）

- 平成22年度から平成26年度にかけて75%以上の方が日頃の生活に対し「不安を感じている」一方で、約18%の人が「不安を感じていない」と答えています。平成25年度と比較すると、「不安を感じている」と答えた人は、0.8ポイント、「不安を感じていない人」は0.5ポイント増加しています。
- ライフステージ別にみると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『育児期』（79.8%）で他のライフステージと比べ多くなっています。
- 旧住民・新住民別にみると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『奈良県にずっと住んでいる人』（79.4%）が『奈良県に新しくきた人』（74.6%）と比べ多くなっています。
- 奈良での就労別にみると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『奈良県内で働いている人』（80.7%）が『奈良県外で働いている人』（71.7%）と比べ多くなっています。

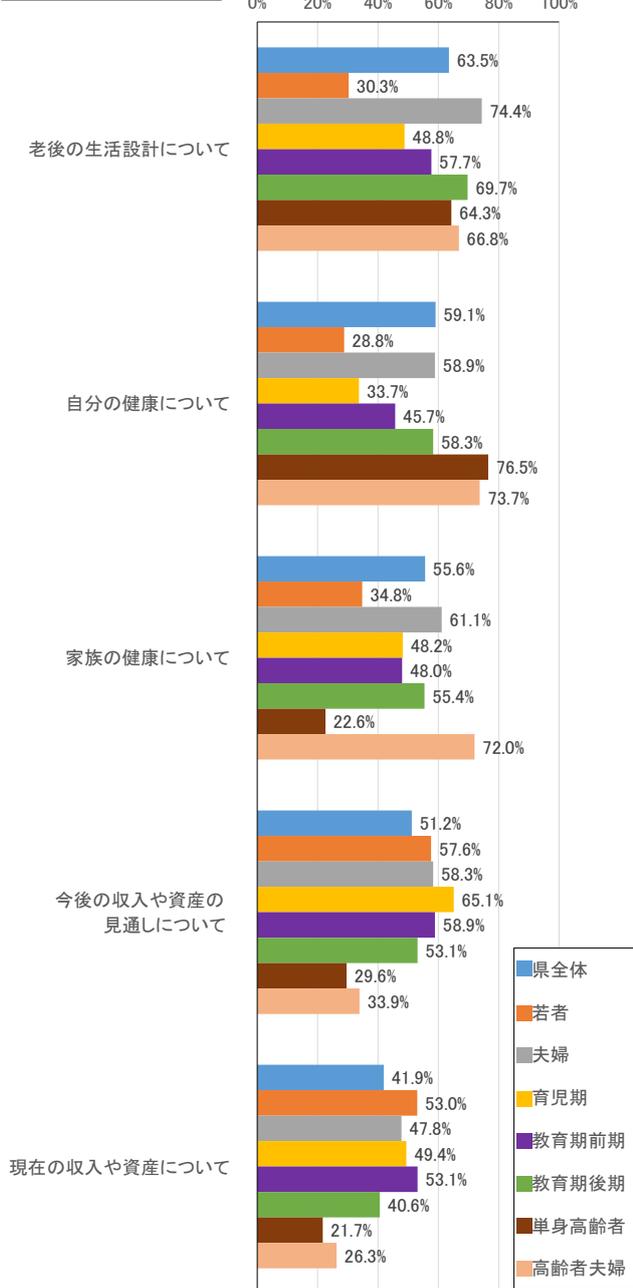


1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容

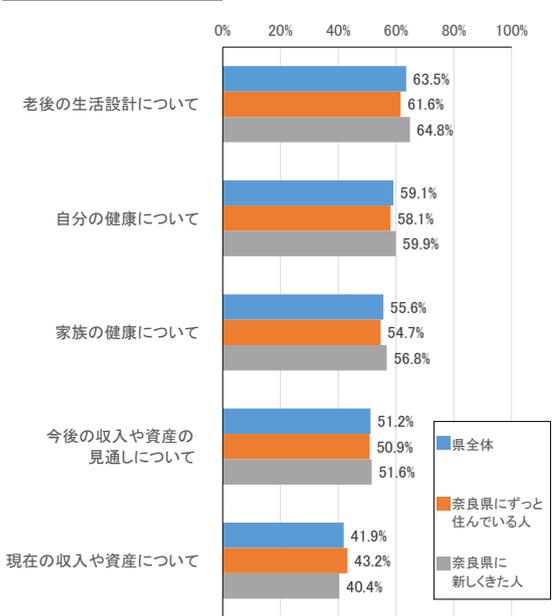
(問5 5つ以内で複数回答 県全体についての上位5項目を掲載)

- 日頃の生活での悩みや不安の内容を尋ねたところ、「老後の生活設計について」(63.5%)が最も多く、次いで「自分の健康について」(59.1%)、「家族の健康について」(55.6%)、「今後の収入や資産の見通しについて」(51.2%)、「現在の収入や資産について」(41.9%)が多く挙げられています。
- 「老後の生活設計について」と答えた人については、ライフステージ別では『夫婦』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。
- 「自分の健康について」と答えた人については、ライフステージ別では『単身高齢者』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。
- 「家族の健康について」と答えた人については、ライフステージ別では『高齢者夫婦』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県外で働いている人』が多くなっています。
- 「今後の収入や資産の見通しについて」と答えた人については、ライフステージ別では『育児期』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県外で働いている人』が多くなっています。
- 「現在の収入や資産について」と答えた人については、ライフステージ別では『教育期前期』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県にずっと住んでいる人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。

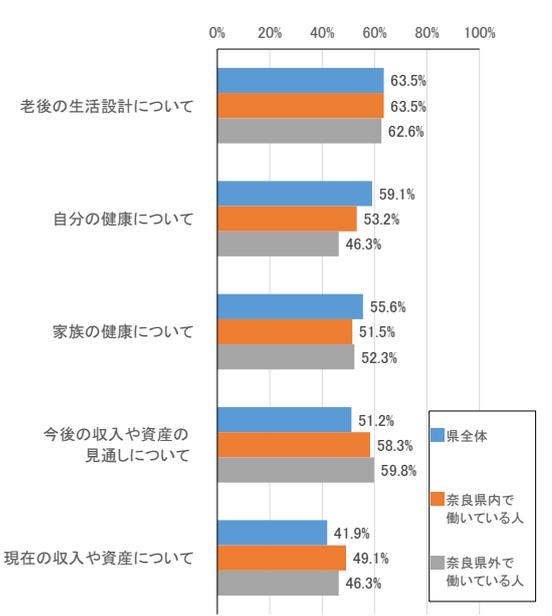
ライフステージ別



旧住民・新住民別



奈良での就労別



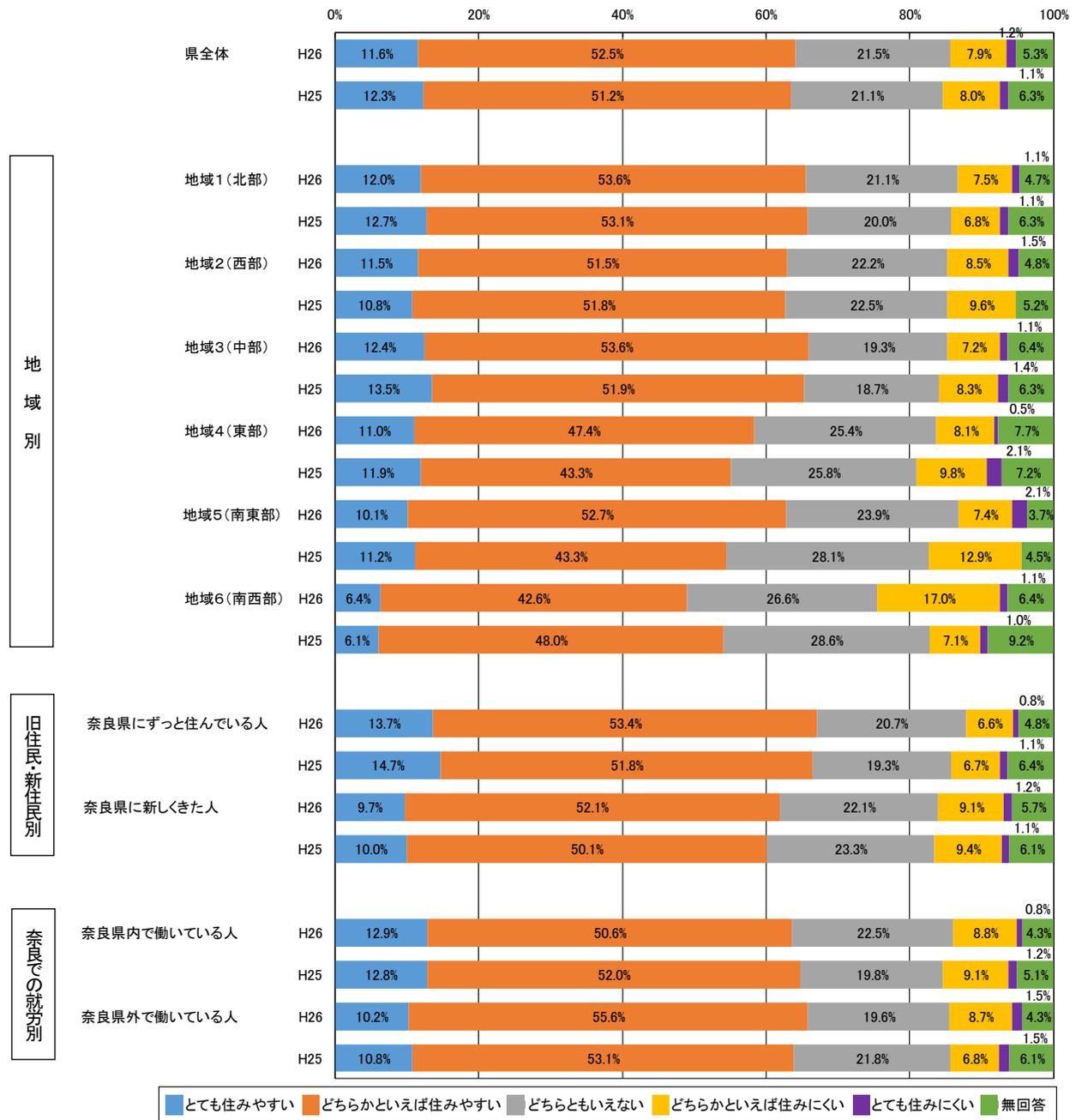
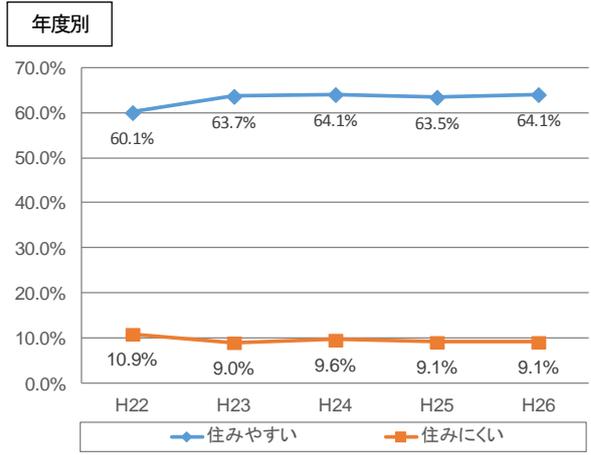
1-6 奈良県の住みやすさの評価 (問6)

■「住みやすい」(「とても住みやすい+「どちらかといえば住みやすい」)と感じている人は、平成22年度から概ね増加傾向にあります。平成25年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は、0.6ポイント増加しています。

■地域別でみると、「住みやすい」と感じている人は『地域3(中部)』(66.0%)が最も多く、次いで『地域1(北部)』(65.6%)、『地域2(西部)』(63.0%)となっています。

■旧住民・新住民別にみると、「住みやすい」と感じている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』(67.1%)が『奈良県に新しくきた人』(61.8%)と比べ多くなっています。

■奈良での就労別にみると、「住みやすい」と感じている人は、『奈良県外で働いている人』(65.8%)が『奈良県内で働いている人』(63.5%)と比べ多くなっています。



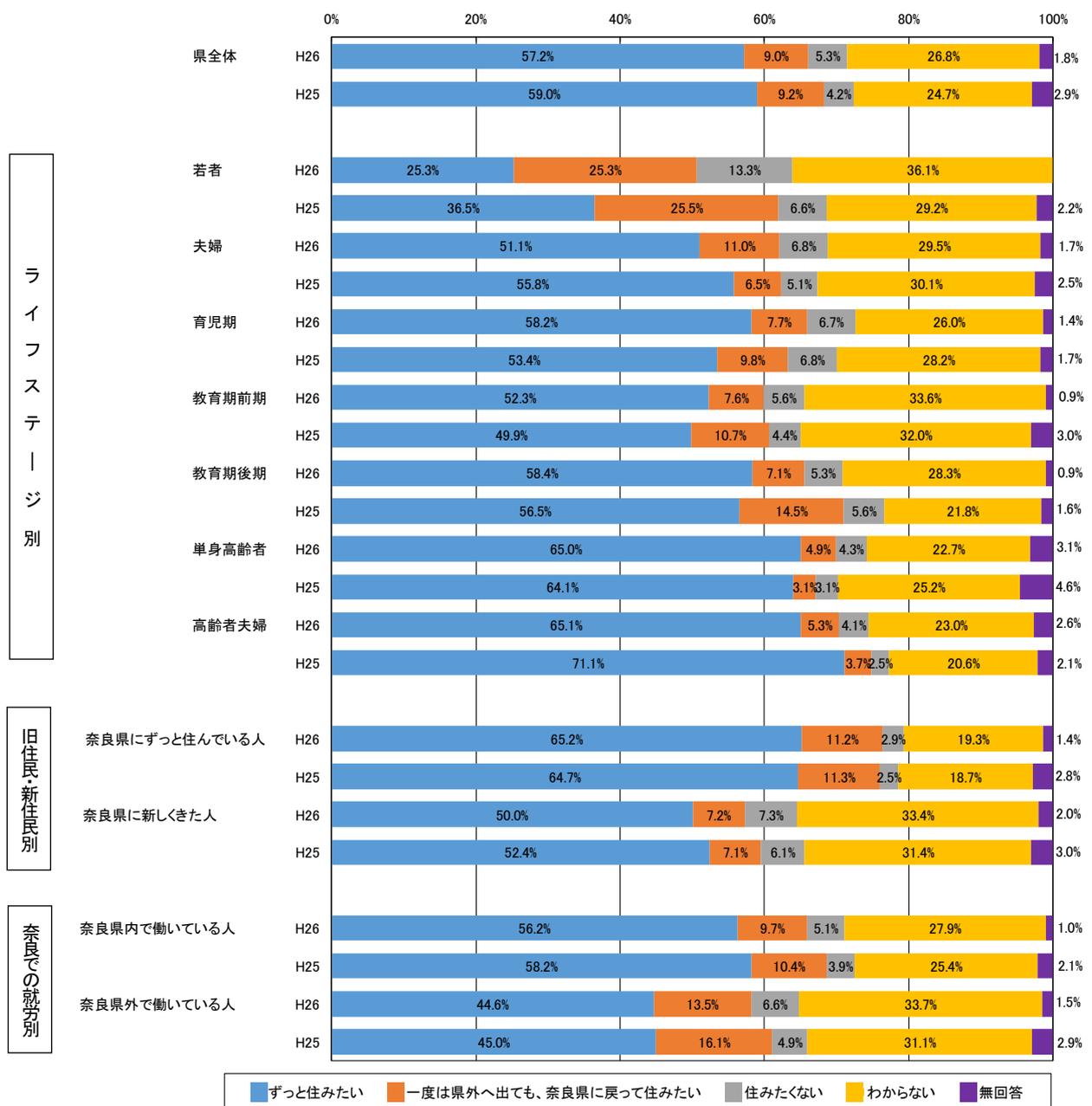
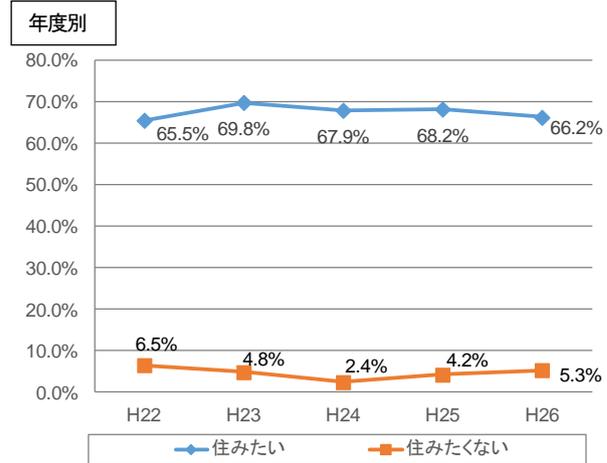
1-7 将来の奈良県での定住意向（問7）

■奈良県に「住みたい」（「ずっと住みたい」＋「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と考えている人は、67%前後で推移しています。平成25年度と比較すると、奈良県に「住みたい」と考えている人は、2.0ポイント減少しています。

■ライフステージ別にみると、奈良県に「住みたい」と考えている人が最も多いのは『高齢者夫婦』（70.4%）、最も少ないのは『若者』（50.6%）となっています。一方で、「一度は県外に出て、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは『若者』（25.3%）となっています。

■旧住民・新住民別にみると、奈良県に「住みたい」と考えている人は『奈良県にずっと住んでいる人』（76.4%）が『奈良県に新しくきた人』（57.2%）と比べ多くなっています。

■奈良での就労別にみると、奈良県に「住みたい」と考えている人は、『奈良県内で働いている人』（65.9%）が『奈良県外で働いている人』（58.1%）と比べ多くなっています。

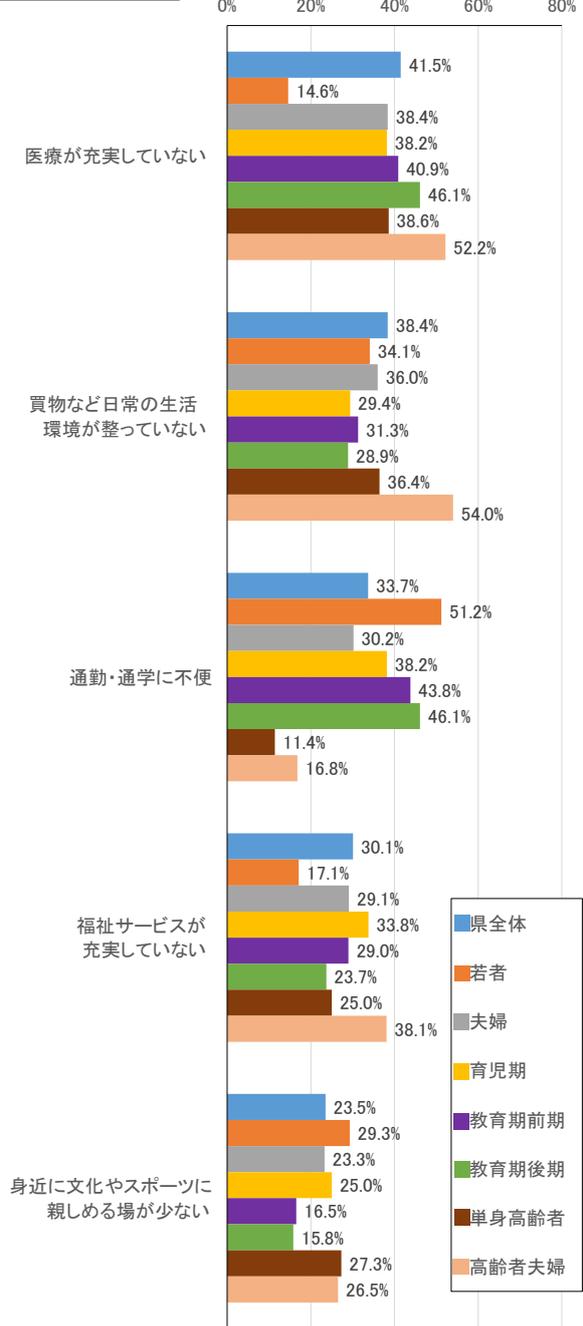


1-8 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由

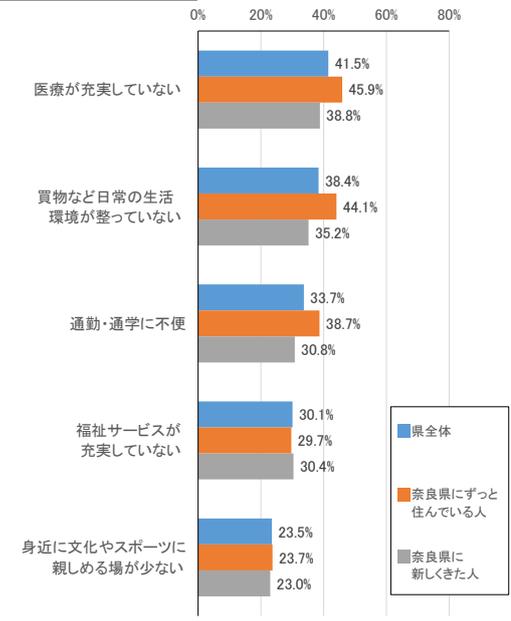
(問8 5つ以内で複数回答 県全体についての上位5項目を掲載)

- 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由を尋ねたところ、「医療が充実していない」(41.5%)が最も多く、次いで「買い物など日常生活環境が整っていない」(38.4%)、「通勤・通学に不便」(33.7%)、「福祉サービスが充実していない」(30.1%)、「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ない」(23.5%)が多く挙げられています。
- 「医療が充実していない」「買い物など日常生活環境が整っていない」と答えた人については、ライフステージ別では『高齢者夫婦』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県にずっと住んでいる人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。
- 「通勤・通学に不便」と答えた人については、ライフステージ別では『若者』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県にずっと住んでいる人』、奈良での就労別では『奈良県外で働いている人』が多くなっています。
- 「福祉サービスが充実していない」と答えた人については、ライフステージ別では『高齢者夫婦』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県に新しくきた人』、奈良での就労別では『奈良県外で働いている人』が多くなっています。
- 「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ない」と答えた人については、ライフステージ別では『若者』が最も多く、旧住民・新住民別では『奈良県にずっと住んでいる人』、奈良での就労別では『奈良県内で働いている人』が多くなっています。

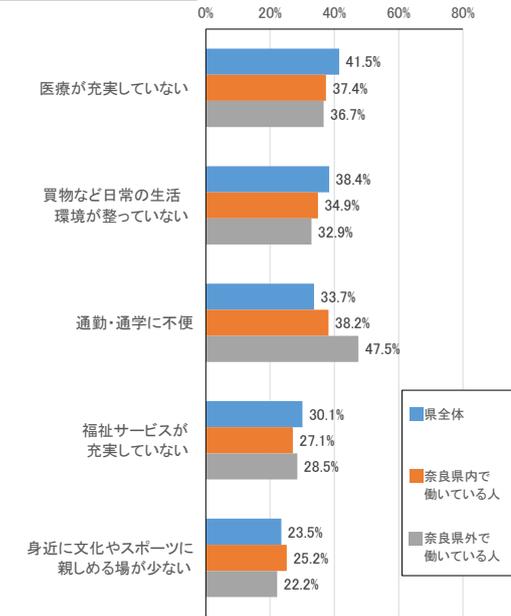
ライフステージ別



旧住民・新住民別



奈良での就労別

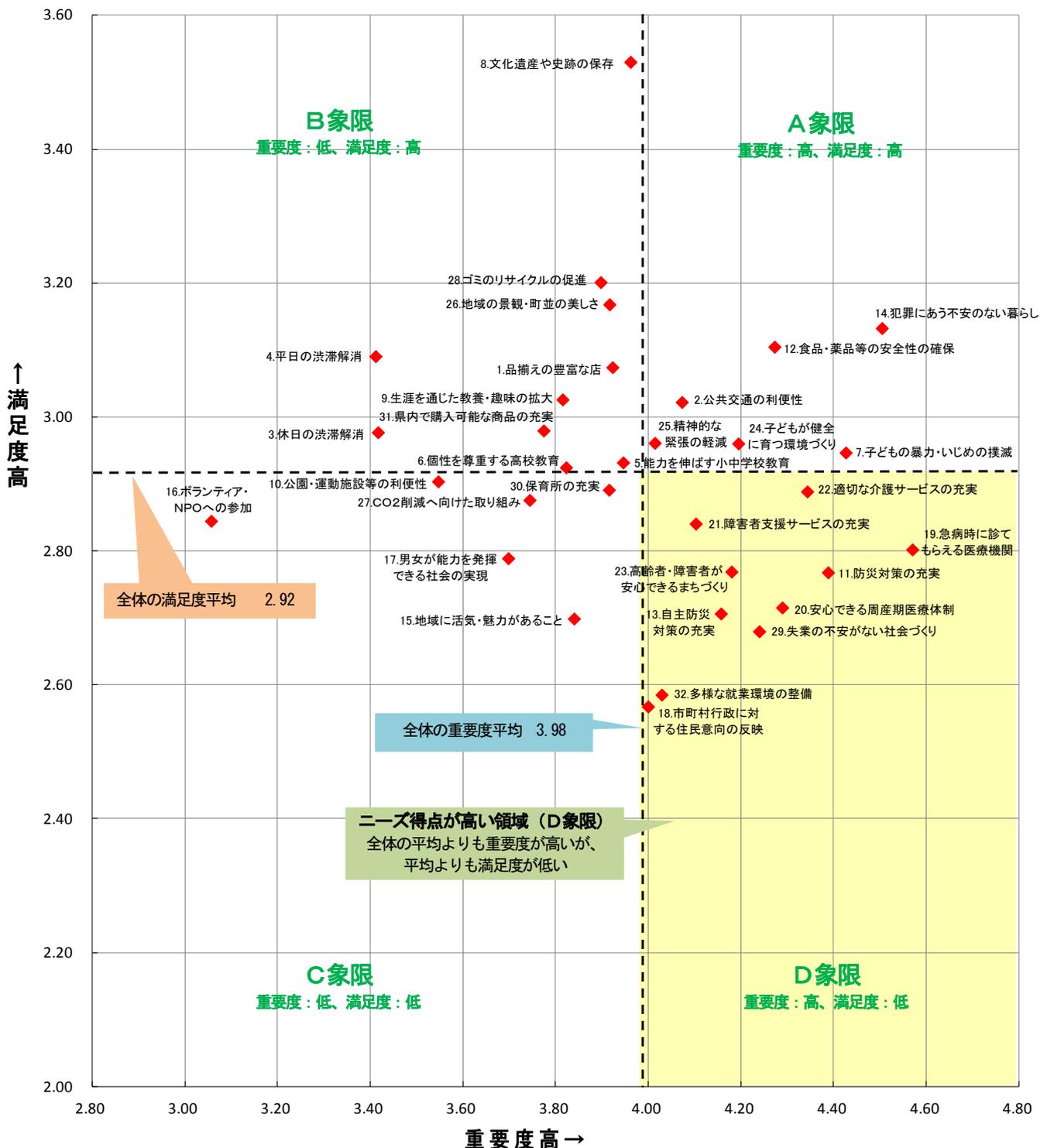


2. 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について

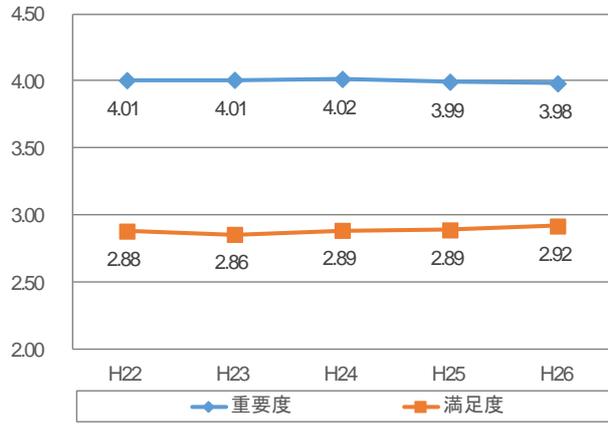
2-1 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度（問9 5段階ポイント評価）

(1) 県全体

- 身近な生活に関する32項目それぞれについて、重要度と満足度の関係を整理しました。また、重要度と満足度の関係から課題・ニーズの大きさの指標となる「ニーズ得点」を算出しました。
- 「重要度が高く、満足度が低い」図の右下の領域（D象限）に属する「19. 急病時に診てもらえる医療機関」「11. 防災対策の充実」「20. 安心できる周産期医療体制」などのニーズ得点が高くなっています。
- 重要度で見ると、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」が最も高く、次いで「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。一方で、「16. ボランティア・NPOへの参加」は最も低く、次いで「4. 平日の渋滞解消」となっています。
- 満足度で見ると、「8. 文化遺産や史跡の保存」が最も高く、次いで「28. ゴミのリサイクルの促進」となっています。一方で、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」が最も低く、次いで「32. 多様な就業環境の整備」となっています。



■ 県民の身近な生活に関する 32 項目の重要度と満足度の平均値の推移をみると、重要度の平均値は概ね年々低下しており、一方で、満足度の平均値は上昇しています。県民の身近な生活にかかわる状況は、昨年同様、改善傾向にあります。



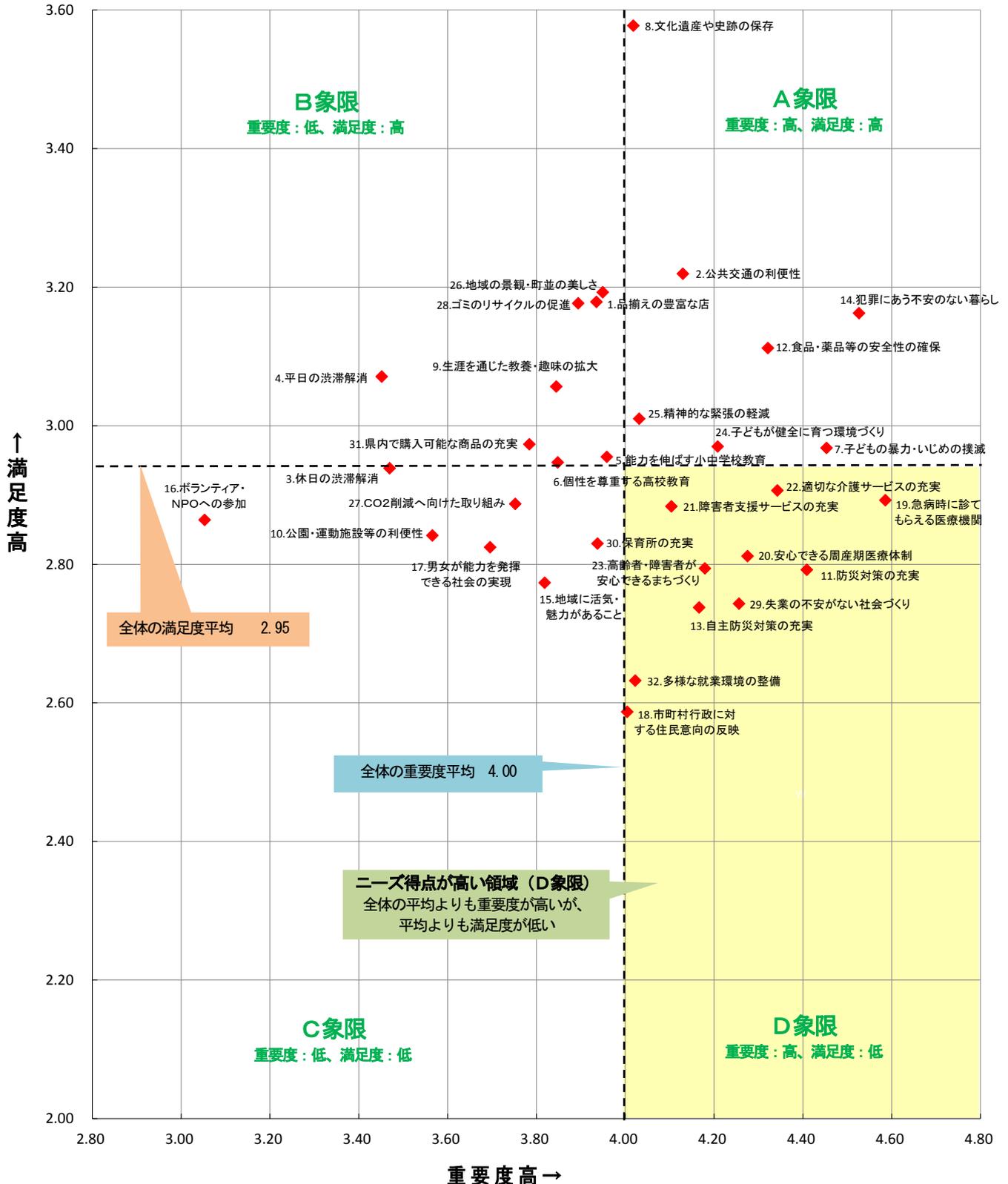
【身近な生活に関する 32 項目の重要度・満足度・ニーズ得点（5年間の比較）】

項目番号	項目	重要度					満足度					ニーズ得点					重要度と満足度の関係				
		H26	H25	H24	H23	H22	H26	H25	H24	H23	H22	H26	H25	H24	H23	H22	H26	H25	H24	H23	H22
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.92	3.90	3.89	3.88	3.91	3.07	3.09	3.03	3.00	3.10	11.47	11.33	11.55	11.62	11.37	B	B	B	B	B
2	電車、バス、タクシーなどの公共交通機関が利用しやすいこと	4.07	4.08	4.08	4.06	4.12	3.02	3.01	3.02	2.92	3.09	12.12	12.20	12.15	12.51	12.00	A	A	A	A	A
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.42	3.40	3.39	3.34	3.34	2.98	2.93	3.02	2.93	2.94	10.33	10.44	10.10	10.25	10.22	B	B	B	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.41	3.39	3.36	3.35	3.34	3.09	3.06	3.13	3.07	3.09	9.92	9.95	9.63	9.83	9.72	B	B	B	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.95	3.98	4.00	3.96	3.97	2.93	2.89	2.88	2.90	2.89	12.10	12.39	12.48	12.27	12.34	B	C	C	B	B
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.82	3.83	3.84	3.83	3.81	2.93	2.89	2.86	2.89	2.87	11.75	11.94	12.06	11.89	11.94	B	C	C	B	C
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.43	4.46	4.44	4.43	4.41	2.95	2.90	2.90	2.94	2.90	13.51	13.83	13.73	13.56	13.69	A	A	A	A	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.96	3.97	4.00	3.98	4.01	3.53	3.53	3.57	3.55	3.51	9.78	9.81	9.73	9.73	10.00	B	B	B	B	A
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.81	3.82	3.83	3.82	3.84	3.03	2.99	3.01	3.00	2.99	11.34	11.47	11.45	11.48	11.58	B	B	B	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.55	3.55	3.55	3.53	3.51	2.90	2.93	2.86	2.84	2.88	10.98	10.91	11.14	11.16	10.96	C	B	C	B	B
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.39	4.46	4.46	4.36	2.77	2.72	2.67	2.65	2.79	14.18	14.39	14.83	14.93	14.02	D	D	D	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.27	4.31	4.31	4.30	4.33	3.11	3.09	3.20	3.25	3.25	12.37	12.57	12.06	11.82	11.90	A	A	A	A	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.16	4.19	4.21	4.23	4.13	2.71	2.65	2.70	2.65	2.76	13.69	14.05	13.89	14.17	13.40	D	D	D	D	D
14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.50	4.53	4.57	4.53	4.51	3.13	3.08	3.05	3.05	3.03	12.91	13.25	13.49	13.34	13.39	A	A	A	A	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.84	3.82	3.89	3.87	3.85	2.70	2.68	2.63	2.62	2.65	12.67	12.69	13.12	13.08	12.89	C	C	C	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.06	3.08	3.08	3.09	3.10	2.85	2.83	2.82	2.78	2.80	9.64	9.78	9.81	9.95	9.76	C	C	C	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.70	3.73	3.71	3.69	3.68	2.79	2.76	2.76	2.77	2.78	11.87	12.10	12.00	11.90	11.85	C	C	C	C	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.00	4.03	4.06	4.08	4.07	2.57	2.53	2.53	2.45	2.52	13.73	13.98	14.10	14.48	14.16	D	D	D	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.57	4.63	4.64	4.61	4.61	2.80	2.73	2.75	2.67	2.70	14.61	15.15	15.08	15.34	15.22	D	D	D	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.29	4.32	4.37	4.38	4.40	2.72	2.65	2.61	2.54	2.51	14.09	14.47	14.82	15.13	15.38	D	D	D	D	D
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.10	4.14	4.14	4.13	4.18	2.84	2.80	2.78	2.77	2.75	12.96	13.26	13.32	13.34	13.57	D	D	D	D	D
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.34	4.37	4.37	4.35	4.39	2.89	2.89	2.88	2.84	2.82	13.51	13.60	13.63	13.74	13.95	D	D	D	D	D
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.18	4.18	4.18	4.18	4.22	2.77	2.73	2.74	2.67	2.71	13.50	13.64	13.62	13.89	13.90	D	D	D	D	D
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.19	4.19	4.24	4.20	4.23	2.96	2.94	2.95	2.92	2.92	12.75	12.82	12.94	12.95	13.03	A	A	A	A	A
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.01	3.98	4.02	4.02	4.01	2.96	2.95	2.91	2.89	2.94	12.19	12.16	12.39	12.52	12.26	A	B	B	A	A
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.92	3.92	3.93	3.95	3.94	3.17	3.17	3.18	3.13	3.16	11.09	11.11	11.09	11.35	11.18	B	B	B	B	B
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.74	3.76	3.77	3.82	3.80	2.88	2.85	2.83	2.78	2.85	11.69	11.86	11.97	12.29	12.18	C	C	C	C	C
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.90	3.92	3.92	3.93	3.93	3.20	3.19	3.13	3.08	3.11	10.90	11.03	11.26	11.49	11.36	B	B	B	B	B
29	失業の不安がなく働けること	4.24	4.28	4.36	4.34	4.36	2.68	2.61	2.57	2.53	2.51	14.07	14.52	14.97	15.05	15.25	D	D	D	D	D
30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.91	3.94	-	-	-	2.89	2.88	-	-	-	12.17	12.27	-	-	-	C	C	-	-	-
31	県内で買いたいものが販売されていること	3.77	3.75	3.80	3.84	3.79	2.98	2.99	2.97	2.98	2.98	11.40	11.28	11.52	11.58	11.44	B	B	B	B	B
32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.03	4.00	4.08	4.10	4.05	2.59	2.54	2.52	2.47	2.48	13.76	13.81	14.23	14.49	14.23	D	D	D	D	D

(注) 「重要度と満足度の関係」の各年度のA～Dの記号の対応については、前ページのA～Dの象限に対応している。網掛けした項目は満足度が32項目の平均値を下回るものであり、ピンク色の網掛けはそのうち重要度が平均値を上回るもの、つまり重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目である。なお、「－」は前年度以前において未調査のため数値がないことを示している。

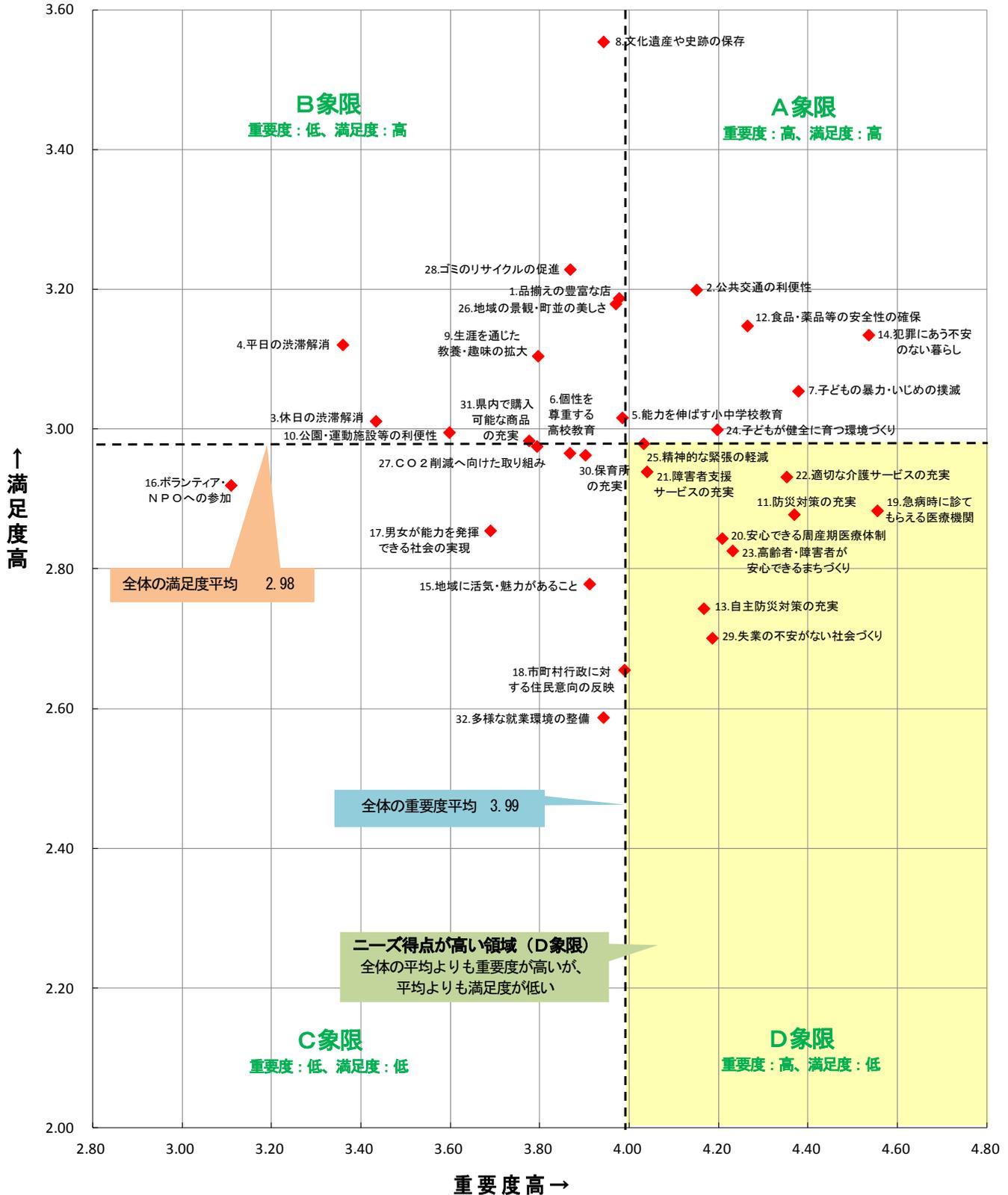
(2) 地域別_地域1 (北部)

- 「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「29. 失業の不安がない社会づくり」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。
- 重要度でみると、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」が最も高く、次いで「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。一方で、「16. ボランティア・NPOへの参加」は最も低く、次いで「4. 平日の渋滞解消」となっています。
- 満足度でみると、「8. 文化遺産や史跡の保存」が最も高く、次いで「2. 公共交通の利便性」となっています。一方で、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」が最も低く、次いで「32. 多様な就業環境の整備」となっています。



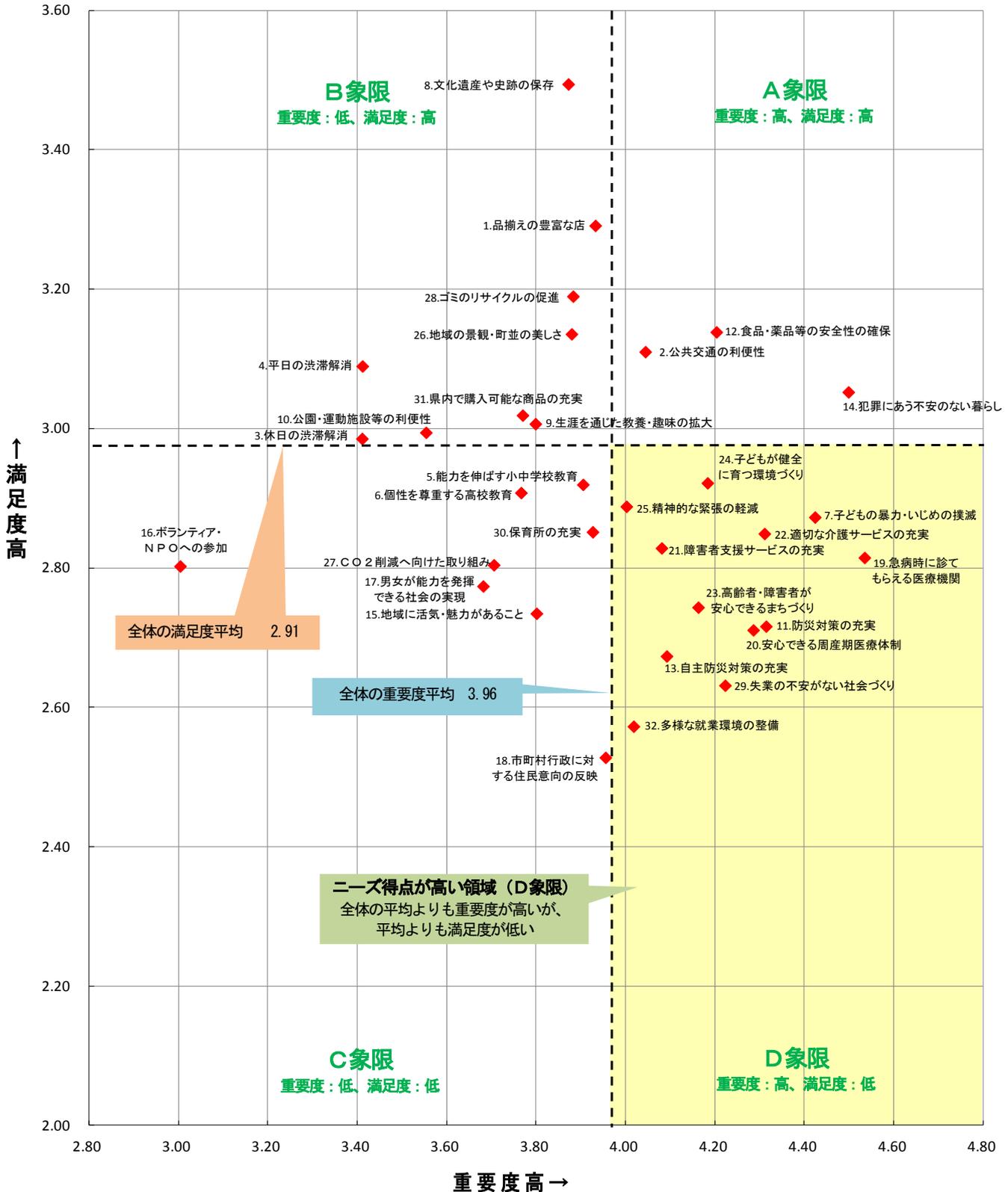
(2) 地域別_地域2 (西部)

- 「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「29. 失業の不安がない社会づくり」、「11. 防災対策の充実」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。
- 重要度で見ると、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」が最も高く、次いで「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。一方で、「16. ボランティア・NPOへの参加」は最も低く、次いで「4. 平日の渋滞解消」となっています。
- 満足度で見ると、「8. 文化遺産や史跡の保存」が最も高く、次いで「28. ゴミのリサイクルの促進」となっています。一方で、「32. 多様な就業環境の整備」が最も低く、次いで「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」となっています。



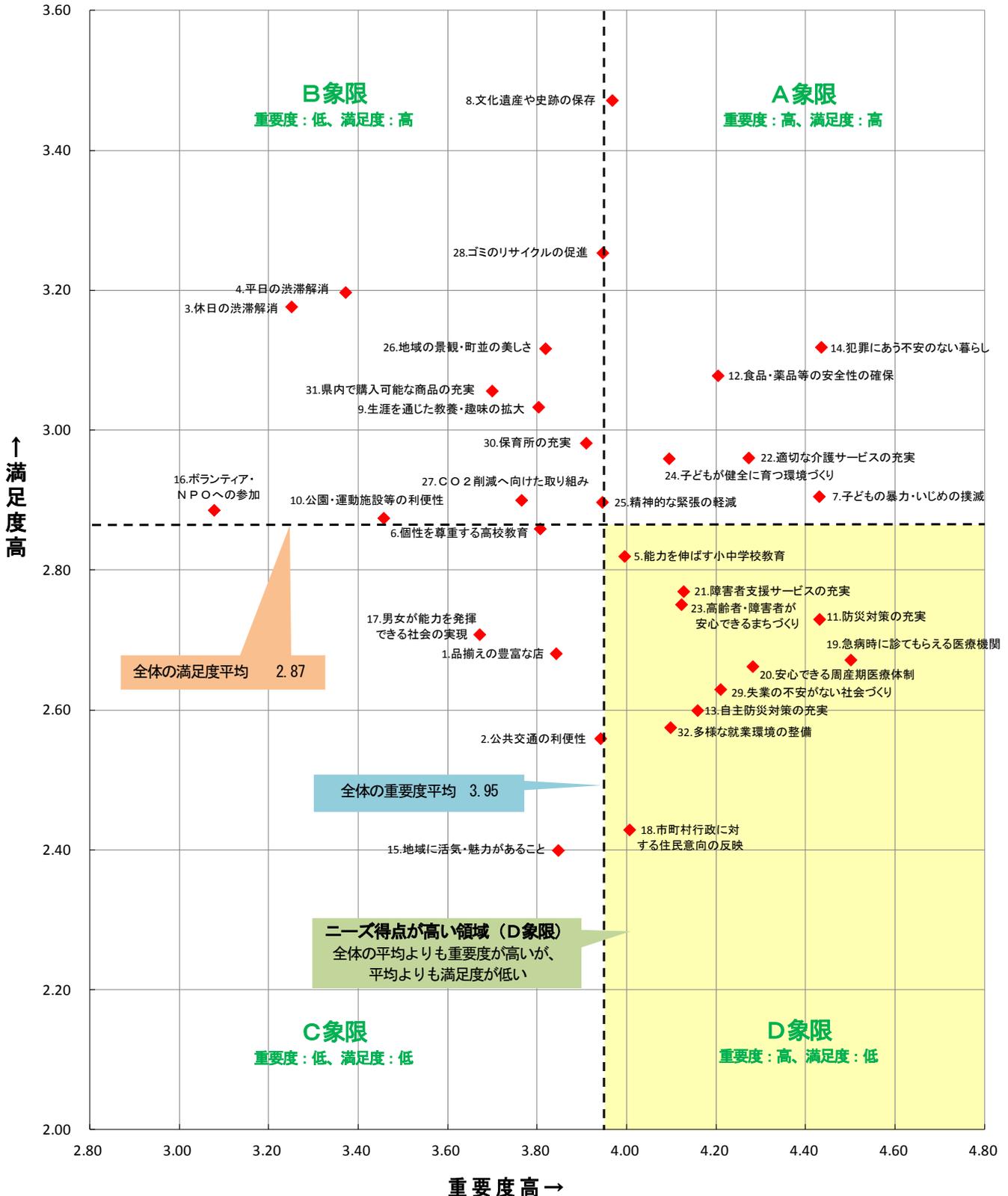
(2) 地域別_地域3 (中部)

- 「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「29. 失業の不安がない社会づくり」、「11. 防災対策の充実」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。
- 重要度で見ると、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」が最も高く、次いで「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。一方で、「16. ボランティア・NPOへの参加」は最も低く、次いで「3. 休日の渋滞解消」「4. 平日の渋滞解消」が同率となっています。
- 満足度で見ると、「8. 文化遺産や史跡の保存」が最も高く、次いで「1. 品揃えの豊富な店」となっています。一方で、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」が最も低く、次いで「32. 多様な就業環境の整備」となっています。



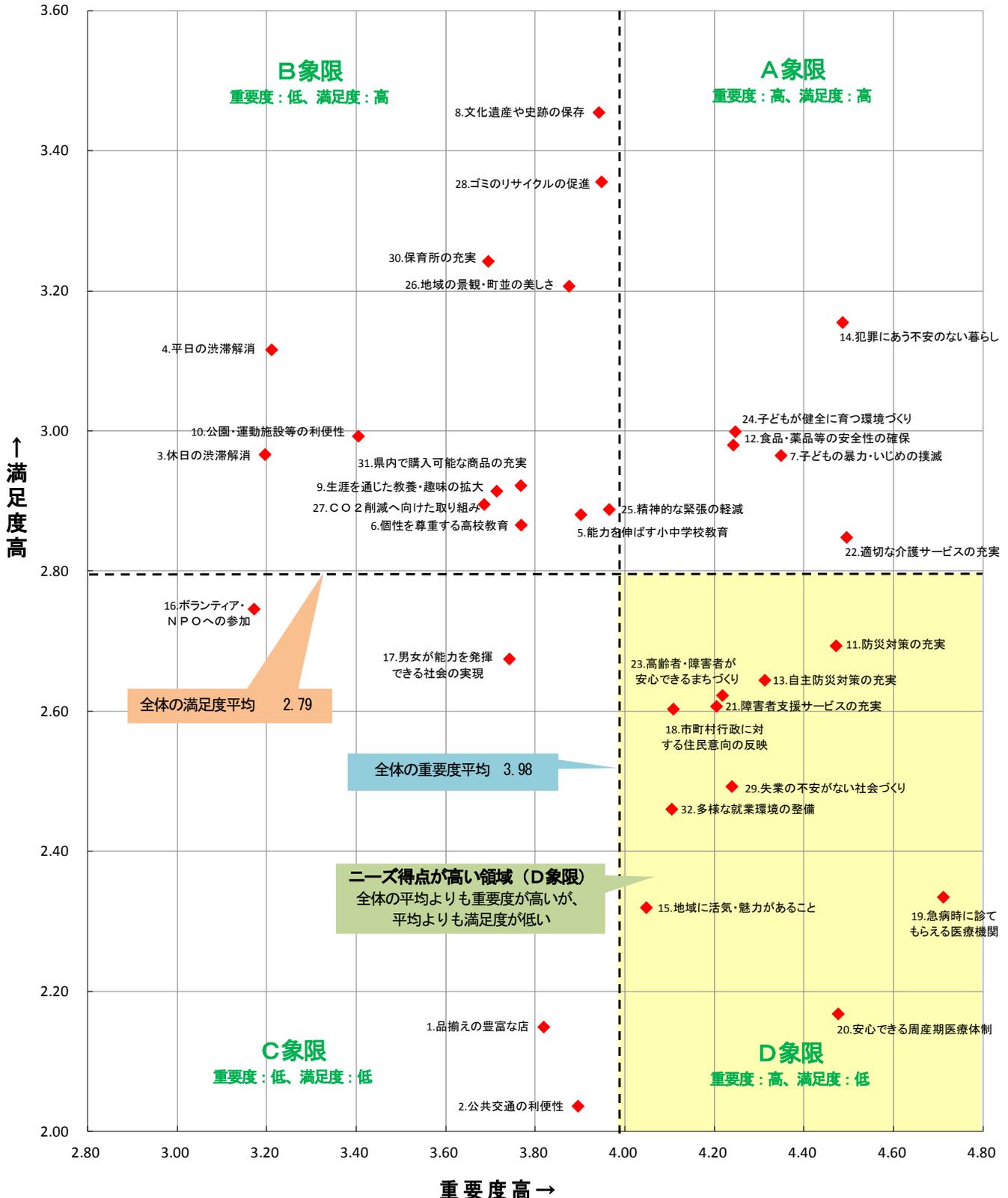
(2) 地域別_地域4 (東部)

- 「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。
- 重要度で見ると、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」が最も高く、次いで「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。一方で、「16. ボランティア・NPOへの参加」は最も低く、次いで「3. 休日の渋滞解消」となっています。
- 満足度で見ると、「8. 文化遺産や史跡の保存」が最も高く、次いで「28. ゴミのリサイクルの促進」となっています。一方で、「15. 地域に活気・魅力があること」が最も低く、次いで「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」となっています。



(2) 地域別_地域5 (南東部)

- 「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「20. 安心できる周産期医療体制」、「2. 公共交通の利便性」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。
- 重要度で見ると、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」が最も高く、次いで「22. 適切な介護サービスの充実」となっています。一方で、「16. ボランティア・NPOへの参加」は最も低く、次いで「3. 休日の渋滞解消」となっています。
- 満足度で見ると、「8. 文化遺産や史跡の保存」が最も高く、次いで「28. ゴミのリサイクルの促進」となっています。一方で、「2. 公共交通の利便性」が最も低く、次いで「1. 品揃えの豊富な店」となっています。



(2) 地域別_地域6 (南西部)

- 「20. 安心できる周産期医療体制」、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「32. 多様な就業環境の整備」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。
- 重要度で見ると、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」が最も高く、次いで「20. 安心できる周産期医療体制」となっています。一方で、「16. ボランティア・NPOへの参加」は最も低く、次いで「3. 休日の渋滞解消」となっています。
- 満足度で見ると、「8. 文化遺産や史跡の保存」が最も高く、次いで「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。一方で、「2. 公共交通の利便性」が最も低く、次いで「20. 安心できる周産期医療体制」となっています。

